



報道発表

令和2年2月12日
東京税関
成田税関支署

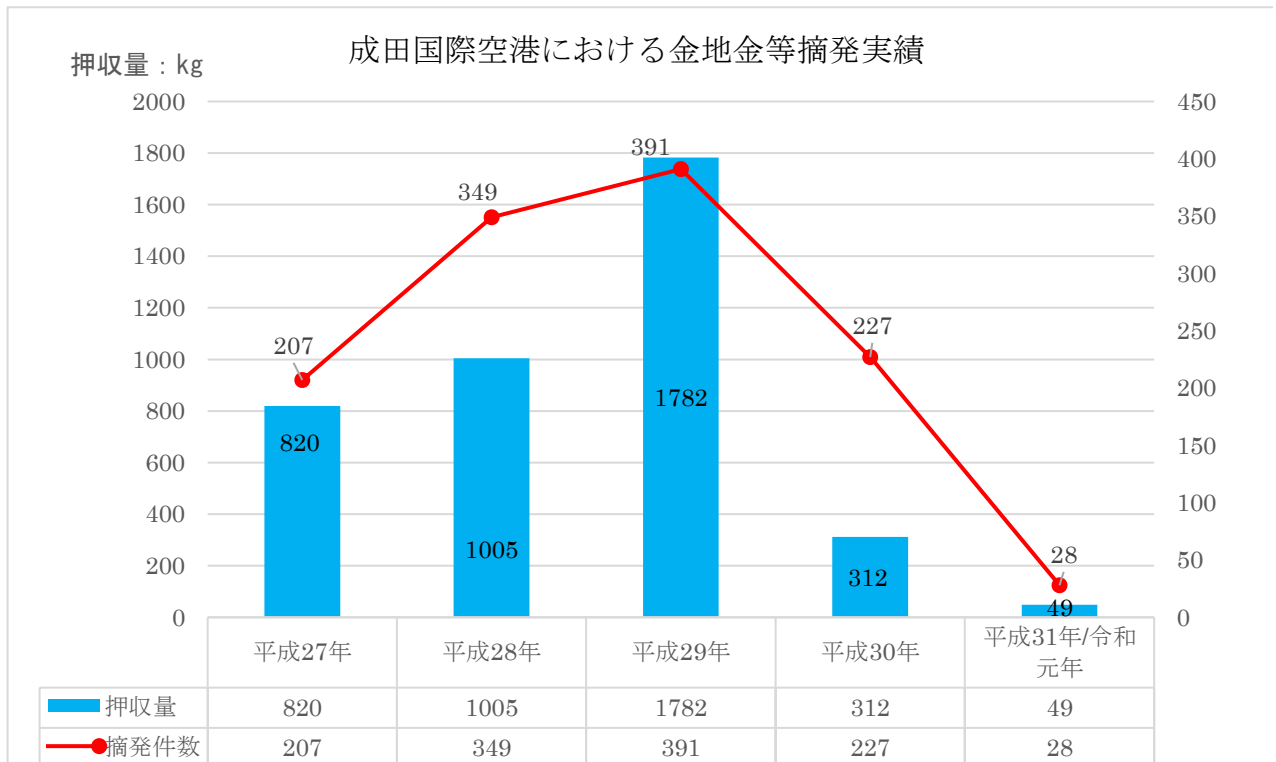
令和元年（平成31年）の成田国際空港における金地金等密輸入事犯の摘発状況

金地金等の密輸入 摘発件数 28 件・押収量約 49kg

令和元年（平成31年）中に摘発した金地金等は、合計で28件（前年比約9割減）/約49kg（前年比約9割減）であった。

◎主な特徴

- ◆ 摘発件数、押収量ともに前年比で大幅に減少した。
- ◆ 消費税が10%となった10月以降増加傾向が見受けられた。（10月以降の摘発件数16件）
- ◆ 航空機旅客による密輸では、ネックレス状に加工、紙片を割り抜き札束に偽装、ブレーキパッド内へ隠匿したものがあり、また、航空貨物による密輸では、コネクターに模して偽装した手口によるものが見受けられ、悪質巧妙化の傾向が窺えた。

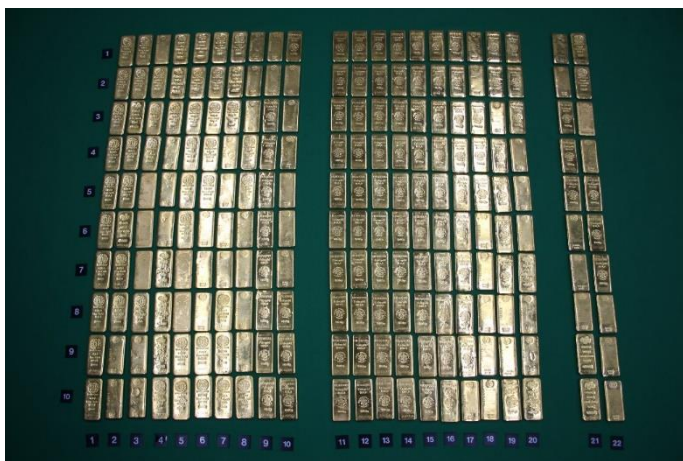


※平成31年・令和元年の押収量は速報値

◎航空貨物による金地金密輸入事犯の告発

- ◆ 平成31年2月及び3月、航空貨物による金地金829kgの密輸入事犯を告発した。
- ◆ 令和元年11月及び12月、航空旅客による金地金32kgの密輸入事件を告発した。

組織的な金塊密輸を告発



巧妙化する金塊密輸手口



・ネックレス状に加工



・紙片を割り抜き
札束に偽装して隠匿



・ブレーキパッド内に隠匿



・コネクタに偽装し隠匿